学校番号	１００７

令和３年度　農業科

教科	農業	科目	農業と環境	単位数	２単位	年次	２年次
講座名	農業と環境Ｂ						
使用教科書	農業と環境　（農山漁村文化協会）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「農業と環境」は農業系科目の基礎的科目であり、農業系のコースが設置してある高等学校では１年次の必修となる科目です。農業に関する基礎的な知識および実際の栽培実習による基本的な栽培管理技術を学ぶ授業です。また、作物を主体とした農場生態系を中心に、周囲の環境との関係性についても学びます。

野菜やイネ（水稲）を中心とした栽培に関して、播種から収穫・利用まで一貫して行うことで、命の尊さや、収穫の喜び、多くの生き物との関わりなどを体感的に学んでいきます。座学により、扱う作物の基本的な栽培管理方法や収穫・利用方法を学び、圃場実習にて、その知識の定着を図りたいと思います。積極的に実習に参加し、作物の姿や周囲の生き物たちをよく観察することで、今まで気づかなかった世界に気づくと思います。

２　学習の到達目標

農業生物の育成と環境の保全についての体験的、探究的な学習を通して、農業及び環境に関する学習について興味・関心を高めるとともに、科学的思考力と課題解決能力を育成し、農業及び環境に関する基礎的な知識と技術を習得させ、農業の各分野で活用する能力と態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	農業生物の育成と環境の保全など、農業と環境について興味･関心を持ち、課題の探求に意欲的に取り組むとともに、その課題を科学的に捉えて合理的に解決しようとする実践的な態度を身に付けている。	農業生物の育成と環境の保全など、農業と環境に関する基礎的な知識と技能に基づき、作物の生育状態を分析し、適切な処置を合理的に判断する能力や、学び得たものを他者へ伝える力を身に付けている。	農業生物の育成と環境の保全など、農業と環境に関する基礎的な技術を身に付け、播種・定植から収穫・採種に至るまでを支障なくこなす技術を身に付け、適切に記録する力を身に付けている。	農業生物の育成と環境の保全など､農業と環境に関する基礎的な知識を身に付け､農業生物の特性と栽培環境や環境保全の重要性を理解している。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 レポート 発表　等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 レポート 授業内考査 発表　等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 栽培報告書 筆記考査 技能試験 発表　等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 レポート 授業内考査 発表　等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期(前半)	農業生産と環境保全の基礎	○栽培環境とその管理	○	◎		◎	a:野菜の栽培環境や管理、その利用についての関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:野菜の栽培環境や管理、その利用について課題を見出し、その解決をめざして思考を深め。判断・表現する姿が見られる。 c:野菜の栽培環境や管理、その利用について、基礎的な技術を身に付け、その技術を活用している。 d:野菜の栽培環境や管理、利用について理解し、基礎的な知識を身に付けている。	授業観察 ノート レポート
	農業生産と環境保全の実際	○野菜の栽培と利用	◎	○	◎	○		

前期(後半)	農業生産と環境保全の実際	○イネの栽培と利用	◎	○	◎	○	a:イネの栽培について関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:イネの栽培について、適切な状態判断や処置判断をする姿が見られる。 c:イネの栽培について、基礎的な技術を身に付け、その技術を活用している。 d:イネの栽培について理解し、基礎的な知識を身に付けている。	授業観察 ノート レポート 授業内考査
		○野菜の栽培と利用				◎	c:野菜の栽培状態について他者に伝わるように必要な情報を的確に記録することができる。 d:野菜の栽培環境や管理、利用について理解し、基礎的な知識を身に付けている。	

後期(前半)	農業生産と環境保全の実際	○イネの栽培と利用	○		◎		a:イネの栽培と利用について関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 c:イネの栽培と利用について、基礎的な技術を身に付け、その技術を活用している。	授業観察 ノート レポート
		○野菜の栽培と利用		◎	◎		b:野菜の栽培記録を元に、その栽培や生育環境、利用用途を思考し、その品種に適した活用を判断し表現することができる。 c:野菜の栽培環境や管理、その利用について、基礎的な技術を身に付け、その技術を活用している。	
後期(後半)	人間生活と農業と環境 農業生産と環境保全の実際	○イネの栽培と利用	○	○	◎	◎	a:イネの利用について関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:イネの利用について、その意義を自らの言葉で言語表現することができる。 c:イネの利用について、基礎的な技術を身に付け、その技術を活用している。 d:イネの栽培と利用について理解し、基礎的な知識を身に付けている。	授業観察 ノート レポート 授業内考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。